

『高度石灰化病変の病変通過における 0.035-inch ガイドワイヤーの tail 使用の有効性と安全性についての検討』  
に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	足の血管に病気のある患者さんの高度石灰化病変（とても硬い病変）の治療において、既存のガイドワイヤーでは通過に難渋することが時にあります。 その際に 0.035-inch ガイドワイヤーの tail（ガイドワイヤーの硬い側）を用いてワイヤー通過を行うことがあります。 その有効性とリスクを検討させていただきます。
研究の方法	上記方法で治療を行いました患者さんのデータを後ろ向きに集め、その成功率と合併症の発生率について検討します。
対象者	西暦2015年1月1日～2023年4月30日の間に、足の血管の病気に対して、上記方法でカテーテル治療を受けた患者さん。
利用する試料/情報	患者背景：識別コード(各研究対象者に割付けた固有の識別番号)、性別、生年月、BMI、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、投薬歴、前治療など 病変背景：Rutherford 分類、標的病変、血管径、病変長、石灰化の有無、最終デバイス、run-off、pre および post ABI など 臨床成績：手技成功率、合併症率
利用する試料/情報の取得方法	診療録から研究に必要な情報を取得します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 循環器内科 医長 毛利 晋輔 〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	関連学会および学会誌に投稿予定です。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 循環器内科 医長 毛利 晋輔
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 循環器内科/毛利 晋輔